

水性ハイソリッド型コンクリート表面強化材

# アーキタイトエコ<sup>®</sup>

ARKITIGHT ECO



簡単な施工でコンクリート表面を、  
より緻密な構造に改質

アーキタイトエコは、コンクリートやモルタルなどの床表面に塗付することで素地内部の細部深くまで浸透し、硬く緻密な表面に改質します。また、アーキタイトエコは、ハイソリッド型であるため、一度塗りで耐摩耗性、耐久性の高い床面を提供します。

## 特長

### 耐摩耗性

特殊珪酸 (Si-O) 化合物がコンクリートに深く浸透し、コンクリートやモルタル成分と反応して、緻密で強固な表面に改質します。

### 粉塵抑制

コンクリートとの化学反応で改質された表面は、摩耗、劣化による粉塵の発生を抑制します。

### 耐汚染性

緻密な表面層は、汚れ成分の付着、浸透、固着を抑制し、優れた耐汚染性を付与します。

### 中性化防止

緻密な表面層は、コンクリートやモルタルの中性化防止に大きく貢献します。

### 安全性

水性タイプで臭いもほとんどなく、ホルムアルデヒドなどの有害物質をほとんど含まない安全設計です。

## 用途

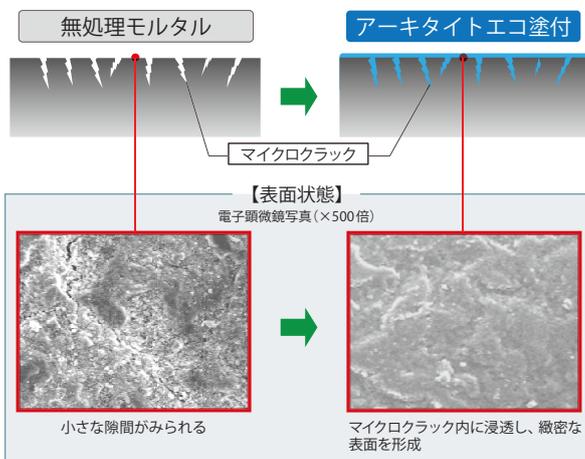
### 下地

コンクリート、セメントモルタルなど

### 適用箇所

工場、倉庫、物流センター、  
駐車場などの内部のコンクリート床面

ただし、薬品工場（酸、アルカリなどの薬品が流れるところ）、食品工場・食堂の厨房（酢、塩、砂糖などが流れるところ）、魚介類の解凍場（海水が流れるところ）、防水を要求される場所などには適用できません。



## 荷姿

アーキタイトエコ 18kg石油缶

(標準塗坪: 180~300m<sup>2</sup>/缶、新築仕様の場合  
72~180m<sup>2</sup>/缶、改修仕様の場合)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

### 危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。  
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

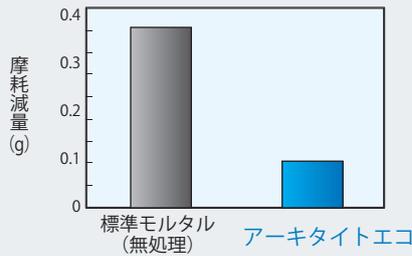
### 施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

## 性能

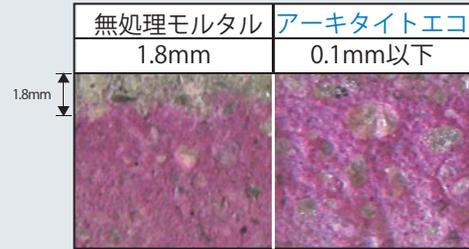
### 耐摩耗性

試験方法：JIS K 5600-5-9 (塗料一般試験方法、塗膜の機械的性質、耐摩耗性(摩耗輪法)に準拠。摩耗輪：CS-17、輪荷重：9.8N、回転数：500回)



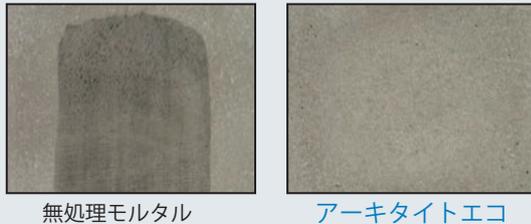
### 中性化

試験方法：10%CO<sub>2</sub> 環境下 28 日後の中性化深さ



### 汚染除去性

試験方法：カーボンペストを塗付し、1 時間後洗浄



### 吸水性

試験方法：水浸漬 24 時間

(無処理モルタルの吸水量を 100 とした場合の比較値)



## 標準施工仕様

### 【新築】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)		備考
					工程間	最終養生	
下地処理	●下地はよく乾燥させてください。 新設コンクリート打設後の養生時間を取ってください。 ●付着物やレタンス層などがある場合、ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで除去した後、入念に清掃してください。						
上塗 <sup>※4,5</sup>	アーキタイトエコ	既調合	0.06~0.10	1	0.5~1	—	ジョーロ 低圧噴霧器
水拭き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭きする。				—	24以上	モップ

### 【改修】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)		備考
					工程間	最終養生	
下地処理	●ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで汚れ、レタンス、油脂を除去し、掃除機などで入念に清掃してください。						
上塗 <sup>※4,5</sup>	アーキタイトエコ	既調合	0.10~0.25	1	0.5~1	—	ジョーロ 低圧噴霧器
水拭き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭きする。				—	24以上	モップ



### 〈施工上の注意事項〉

- ※1. 気温5℃以下、(湿度85%以上)での施工は原則的に避けてください。施工が要求される場合は、ジェットヒーターなどにより採暖養生を行い、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※2. 施工部位を確認し、養生が適切に行われていることを確認してください。特にアルミニウム、ガラス等に付着した場合、取れなくなりますのでご注意ください。
- ※3. 下地に油が付着している場合は、有機溶剤などで拭き取ってください。また、油が浸透している場合はミラクルクリーナーを散布し、デッキブラシ・ポリッシャーなどで洗浄してください。(洗浄後の乾燥工程でバーナー等の火気での強制乾燥は厳禁です。)
- ※4. 材料は低圧噴霧器やジョーロなどで床面に散布し、必要に応じてモップ等を使用し全体に塗り広げてください。(スプレーガンは、材料の飛散が高範囲となり、周囲に付着しますのでご使用は避けてください。)
- ※5. 下地の状態によって、所要量が変わりますので吸い込みが大きい下地の場合は、追加で散布してください。また、凹部で材料が溜まった場合、モップ等で均一に塗り広げてください。溜まったまま硬化させると白化やひび割れが生じる場合があります。
- ※6. アーキタイトエコはクリヤー仕上げのため、下地のコンクリートの色違い、及びひび割れや欠損部跡を隠すことができません。特に改装工事の場合は、よりそれらの影響を受けやすくなりますので、予めご了承ください。
- ※7. 内部の塗装時、換気が十分でない場合や風通しの悪い場合、蒸気が滞留し、乾燥が遅くなったり、硬化不良の原因となるおそれがあります。必ず十分な換気を行い、塗膜が十分に乾燥、硬化できるようにしてください。
- ※8. アーキタイトエコは強アルカリ性ですので、目や皮膚に触れたり口に入らないように適切な保護具(保護メガネ、保護手袋等)を着用して施工を行ってください。万が一、目や皮膚や口に触れた場合は、応急処置として直ちに清潔な水で十分洗い流してください。(詳細は、SDSをご参照ください)
- ※9. 低温又は高湿度時は乾燥が遅くなります。また、乾燥過程で水(降雨)、結露など水分の影響を受けやすいようご注意ください。(白化することがあります)
- ※10. 材料の保管時は、直射日光の当たらない風通しの良い冷暗所で保管してください。
- ※11. コンクリートの湿練水には、天然温泉や鉱泉近くの井戸水など、硫酸ナトリウムや、炭酸ナトリウムなどの塩類を多く含む水を使用しないでください。これらの含有量が多い場合には、アーキタイトエコを塗付後、塩類に起因する反応物がコンクリート表面に析出し、白化、変色、粉化する場合があります。
- ※12. 性能に支障をきたす恐れがありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

